

■荻野吟子 苦難の道を歩んで女医第一号となり、医者として成功するも、牧師と再婚し、北海道へ。

おぎのぎんこ

尊徳報徳論・1851＝ 埼玉県大里郡で、村長荻野綾三郎の五女に生まれる。

ペリー来航・1853＝ 2歳：

桜田門外変・1860＝ 9歳：

幼少の頃から学問を好み、郷里の碩儒松本万年翁について漢学を学び、その娘荻江と意気投合、

明治維新・ 1868＝17歳： 熊谷の名主に嫁ぐも、

戊辰戦争終・1869＝18歳： 品行の悪い夫から淋病をうつされた上、離縁され、順天堂病院に入院して、男子学生の見学に身をさらす
というような恥辱を味わう治療を2年間受け、

廃藩置県・ 1871＝20歳： 退院後、自宅で静養するち、女性の医者必要性を痛感し、女医になることを決心、

明治6年政変 1873＝22歳： 上京して、皇漢医井上頼圀の門に入り、

佐賀の乱・ 1874＝23歳： 甲府の内藤塾助教に招かれ、教鞭をとる。家族親族が反対する中、姉だけのはげましをたよりに、

初の民間工場1875＝24歳： 開設された東京女子師範学校に入学。

大久保暗殺・1878＝27歳：

琉球処分・ 1879＝28歳： 優秀な成績で卒業。石黒忠恵の口ききにより東京下谷にある私立医学校好寿院(高橋経徳)に入り、

明治14年政変1881＝30歳：

新体詩抄・ 1882＝31歳： *修了したが、内務省の医術開業試験受験を拒否される。

前例がないと何度も却下されるが、ねばり強く交渉し、全国各地からの請願と、

秩父事件・ 1884＝33歳： 長与専齋らの努力で大改正された前期試験を受験して、唯一人合格。キリスト教の大演説会聞いて感銘。

内閣発足・ 1885＝34歳： *後期試験にも合格し、女子では日本最初の医籍登録者となる。ただちに開業し、盛況。

帝国大学始・1886＝35歳： 本郷教会の海老名弾正から受洗。基督教婦人矯風会風俗部長となったのはじめ、

国民之友始・1887＝36歳： 大日本婦人衛生会幹事、

帝国憲法発布1889＝38歳： 明治女学校教師兼校医などを歴任。

帝国議会始・1890＝39歳： 14も年下の牧師志方之善と再婚し、

足尾鉞毒始・1891＝40歳： 開墾と伝道のため北海道に渡った夫の招きを受け、

大本教・ 1892＝41歳： 明治女学校舎監となるも、

日清戦争始・1894＝43歳： *東京での名誉や地位を投げ打って、北海道に渡り、

白馬会・ 1896＝45歳：

八幡製鉄始・1897＝46歳： 夫と離れて、瀬棚郡瀬棚に開業するとともに、淑徳婦人会結成して会長となり、日曜学校を創設。

子規句歌革新1898＝47歳： 夫同居するも、

日比谷公園・1903＝52歳： 夫が同志社に再入学したため、札幌に医院を開業。

日露戦争始・1904＝53歳： 同志社を終えた夫が、北海道浦河教会の牧師となるも、

日露戦争終・1905＝54歳： 辞して瀬棚に戻ってまもなく、夫が死去、

アヲキ創刊・1908＝57歳： 3年間墓を守ったのち、東京に移り、江東新小梅町で開業。

様々な勧誘を断り、静寂のうちに、

明治天皇没・1912＝61歳：

大正政変・ 1913＝62歳： 肋膜炎を発病し、没した。